

## 高知県健康診査管理指導協議会 胃がん大腸がん部会

1. 日時 平成26年8月22日（金）19時00分～20時00分
2. 場所 高知県庁2階第2応接室
3. 出席者 委員9名中7名出席、事務局4名出席

1. 日時 平成27年2月12日（木）19時00分～20時20分
2. 場所 高知県庁3階会議室
3. 出席者 委員9名中7名出席、事務局3名出席

氏名	所属	職種
井上修志	国立病院機構高知病院	医師
<span style="border: 1px solid black;">新</span> 今村みゆき	高知県総合保健協会	臨床検査技師
大黒隆司	高知赤十字病院	医師（8/22：欠席）
小林道也	高知大学医学部	医師（8/22・2/12：欠席）
長田裕典	いずみの病院	医師
久明史	高知県医師会	医師（2/12欠席）
道脇みか	高知市保健所	保健師
横田哲夫	横田胃腸科内科	医師
渡邊直孝	高知県総合保健協会	診療放射線技師

（敬称略、五十音順）

#### 4. 議題

平成26年8月22日

- （1）平成25年度大腸がん郵送検診事業について
- （2）高知県大腸がん検診実施指針の改正について

平成27年2月12日

- （1）胃がん検診及び大腸がん検診の実績等について
  - ①がん検診推進事業での大腸がん検診の実施状況について
  - ②平成25年度の胃がん大腸がん検診実績について
  - ③平成25年度健康診査事業の実施状況調査結果について
  - ④平成26年度検診費用徴収額調べについて
- （2）胃がん大腸がん検診精度管理調査結果について
- （3）その他
  - ①胃底腺ポリープの扱いについて
  - ②郵送での大腸がん検診の実施について
  - ③地域がん登録の登録状況について

## 5. 協議事項

平成26年8月22日

**議題（1）平成25年度大腸がん郵送検診事業について**  
告した。

- ①精度管理上の問題はなく、H26年度より冬季に限って郵送による大腸がん検診をカットオフ値 200ng/dl で実施する。
- ②郵送検診のカットオフ値は、要精検率、陽性反応的中度をみながら継続検討。
- ③従来型の大腸がん検診についてもカットオフ値を検討することとし、H27年度は 200ng/dl として実施することを確認。（H27年度末の部会で検討）

**議題（2）高知県大腸がん検診実施指針の改正について**

高知県大腸がん検診実施指針について、以下の点の内容の変更が承認された。

- ・冬季（12月～2月）に限って郵送による回収を可とすることを追加
  - ・郵送による場合の手順や様式について追加
  - ・様式2・5・8号を実際使用している様式に合わせて修正
  - ・再検査の通知方法を「大腸がん検診結果通知書の送付」から「再検査が必要であることを知らせる」に変更
  - ・「大腸がん検診を受診される方へ」内の生理中の採便について説明を追加
- その他、問診票の記載内容による指導は現在行われていないことから、今後、問診項目についての見直しを検討。

平成27年2月12日

**議題（1）胃がん検診及び大腸がん検診の実績等について**

平成26年度の胃がん検診及び大腸がん検診実績について、受診者数や精検者数、精検結果についての報告を行った。

次年度、職域検診の実績報告依頼の際には、がん発見数は、胃がんと食道がんが別に計上されるよう依頼する。今後統計をとっていくには、職域検診で胃カメラを実施した場合の要精密検査の定義を検討することも必要ではないかという意見が出された。大腸がん検診について、発見がんの進達度別分類の不明については、次年度以降に個表が返ってきていれば更新をしていく。

**議題（2）胃がん大腸がん検診精度管理調査結果について**

厚生労働省の研究班による検診評価の取組により、県内の市町村及び検診機関の平成24年度の胃がん検診及び大腸がん検診について、国の示しているチェックリストに基づいた精度管理調査を実施し、その結果を報告した。

**議題（3）その他 ①胃底腺ポリープの扱いについて**

消化器がん検診学会の集計委員会での協議を受け、過形成性ポリープと胃底腺ポリープの扱いについて協議を行い、読影委員で検討・徹底することとなった。→部会后、P. 18のとおり、高知県胃がん検診実施指針の「参考資料」改正が了承された。

**議題（4）その他 ②郵送での大腸がん検診の実施について**

郵送による大腸がん検診の実施状況について報告した。

**議題（4）その他 ③地域がん登録の登録状況について**

地域がん登録事業について、高知県の2011年（平成23年）の登録状況の報告を行った。